



# かかわりの中で育ち合う

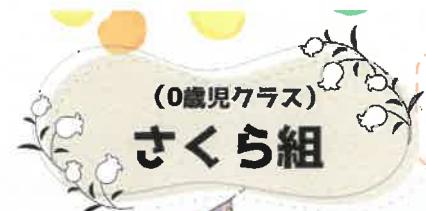
~みて・まねて・やってみる~

当園では1、2歳児はオープン保育、幼稚組は異年齢保育をおこなっています。

あそびはもちろんですが、今年は生活を軸にしながら異年齢活動をおこなってきました。その中で、大きい子の姿を見て、真似て、やってみようとする小さい子の姿が、様々な場面で見られます。

やってみようとしてもうまくいかないもどかしさを感じたり、どうするとうまいくいかを考えてみたり、大きい子の力を借りてできる喜びを味わいながら、異年齢活動の中で共に育ち合い過ごしています。

時にはトラブルになり、気持ちがうまく伝わらない時も多々ありますが、お互いに気持ちを伝え合いながら、大きい子は小さい子の気持ちを受け止めながら子どもたち同士で考え、育ち合っている姿に頼もしさを感じます。



0歳児は、ゆったりとした雰囲気のなかで安心できる保育者が一人ひとりに温かくかかわり、心地よく過ごしたり、友だちとのかかわりが広がり興味をもったあそびを楽しんでいます。



1、2歳児が一緒にあそび生活をしています。

毎日共にすごすことで、大きい子にあこがれたり、小さい子に優しく寄り添ったりと心豊かにのびのびと育つ子どもたちです。



リズム運動やブロックあそび、外あそびいろいろな場面で、年下の子を見守ったり手伝ってくれたりする姿があります



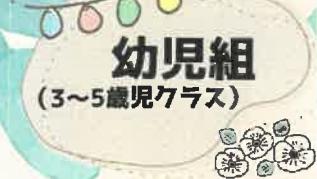
うめ組  
(1歳児クラス)

もも組  
(2歳児クラス)



食器の片付けや  
着そびのスーツを着たり  
自分でチャレンジ頑張ってます

ひとりでできるよ!



今年度から、カバン等の持ち物を置くロッカーや食事をそれぞれの異年齢グループの部屋の中に移動しました。

すると、これまでなかなか見えていなかった年長児の当番活動の姿や、年下の子を優しく見守り頼もしくサポートする姿が見えるようになりました。そのような姿を見て、自然と年中・少児も「ぼくもやってみたい」「わたしもできるかも」と進んで当番のお手伝いをするようになりました。

様々な行事ごとに、話し合い助け合って異年齢の繋がりは強くなっているようで「年長になつたら自分も○○くん、●●ちゃんみたいになりたい」と、憧れの存在になっています。



新しいカードゲーム登場  
ルールをみんなで教え合ってます



だいじょうぶだよって  
年少の子を抱っこしてくれる  
年中さん(優しい)



年長さんのお掃除を  
今日は自分たち(年中・少さん)もお手伝い



おあスお  
うつとさ  
ゆは「らん」と  
もだよ

一本ロープのブランコ  
バランスが難しいけど  
楽しそう~

はじまるよ  
はじまるよ~♪  
はじまるよつたら  
はじまるよ~♪

さっそりのぞいでみると  
保育者のまねをしているようです(笑)

なに作ってるの?  
年中さんと年長さんで  
折り紙の折り方を見せ合いっこ

クッキングの支度中  
後ろのリボン結びをお手伝い